

年長児親子ふくべ山登山

～「山の駅ふくべ」の皆さんに感謝～

5月15日、担任と福島先生、そして「山の駅ふくべ」の3人と私の6人で下見行ってきました。下見の目的は二つ。一つは、ふくべ山という大自然の宝庫を生かして年長児の五感に刺激を与える作戦を確認することです。これは、今年も「ふくちゃん」こと福島先生と担任との間でじっくり準備してくれました。もう一つは危険や歩きにくさ、見晴らしを遮る木や笹を排除することです。それは写真のごとく「山の駅ふくべ」の3人の力で準備万端となりました。でも、それだけではないのです。この日の下見の時点で、すでに山道の両側から張り出すおぼけ笹の大半は山頂近くまで狩り払ってあったのです。その労力たるや、計り知れないくらいの仕事です。聞けば、バス運転手の伊藤さんが奥様との2馬力で1日かかりでやったとのことでした。



標高1163メートルの頂は四方に山々の稜線や青空が広がって最高でした。西北の方向には、まだまだ雪をかぶった白山を望むこともできました。

23日当日も、朝から青空に恵まれて、年長児10名全員元気いっぱい山頂を目指すことができました。「山の駅ふくべ」からも6名の方に参加いただき、先遣隊として山道の一層の安全を確認



していただいています。下見から本番まで、あらためて道の駅ふくべのボランティアの方の力があってこそ「ふくべ登山」だと思われ知らされます。

また、一緒に登っていただいた

保護者の皆様、ありがとうございました。子どもたちと一緒に自然の不思議や面白さに動く表情は童心があふれだすようで、子どもたちの心に一段と関心の火をつけていました。右の写真は、西の方に目の高さはっきり見える高野山に向かって「ヤッホー！！」と呼び掛けしている、年長児10人です。

